

令和7年度

仙北市

「全国学力・学習状況調査」

結果分析・改善委員会

報 告 書

I 報告書の作成にあたって

本報告書は、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成した。

報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

（結果の公表）

第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

（改善策の立案）

第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」、「理科学習指導研究委員会」に研究推進アドバイザーを加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

Ⅱ 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施主体 文部科学省

3 参加主体 市町村教育委員会

4 調査の対象

【小学校調査】

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

【中学校調査】

中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、
中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

5 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

国語、算数・数学、理科はそれぞれの（ア）と（イ）を一体的に出題。

（ア）身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、
実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等

（イ）知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

② 学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

6 調査の方式 悉皆調査

7 調査期日 令和7年4月17日（木）
（中学校理科は4月14日（月）から17日（木）のうち1日）

8 調査を実施した児童生徒数・学校数

小学校児童数	児 童 数（人）			
	国語	算数	理科	質問紙
全国（公立）	936,137	936,399	936,576	
秋田県（公立）	5,664	5,663	5,663	
仙北市教育委員会	113	113	113	113

中学校生徒数	生 徒 数（人）			
	国語	数学	理科	質問紙
全国（公立）	870,560	871,097	864,634	
秋田県（公立）	5,875	5,874	5,839	
仙北市教育委員会	135	135	135	135

調査実施校数	調査を実施した小学校 義務教育学校前期課程 特別支援学校小学部	調査を実施した中学校 義務教育学校後期課程 中等教育学校前期課程 特別支援学校中学部
全国（公立）	18,313校	9,311校
全国（国立）	75校	80校
全国（私立）	251校	803校
合計	18,639校	10,194校
仙北市教育委員会	5校	5校

Ⅲ 結果

- ※ 本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学、理科の3教科であり、また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。従って、本調査の結果については児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校等における教育活動の一側面にすぎないことに留意する必要がある。
- ※ 「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第2条に基づき、教科に関する調査結果の数値による公表は行わない。〈表2〉の階層区分と表現による公表としている。

1 教科に関する調査の結果

(1) 概要

本調査における全国調査校（以下、全国）及び秋田県調査校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市調査校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数・理科、中学校3年国語・数学・理科のそれぞれで比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ① 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生の国語・算数・理科の学習状況は「概ね満足できる状況」もしくは「十分満足できる状況」である。
- ② 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、中学校3年生の国語・数学・理科の学習状況は「概ね満足できる状況」である。

【課題】

- ① 秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年生理科において仙北市が若干下回っている。
- ② 秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、中学校3年生数学、理科において仙北市が若干下回っている。

〈表 1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年	国語	全国(公立)	66.8%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	71%	概ね満足できる状況
	算数	全国(公立)	58%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	60%	概ね満足できる状況
	理科	全国(公立)	57.1%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	61%	概ね満足できる状況
中学校 3年	国語	全国(公立)	54.3%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	57%	概ね満足できる状況
	数学	全国(公立)	48.3%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	49%	概ね満足できる状況
	理科 (全日程共通問題において)	全国(公立)	50%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	48.5%	概ね満足できる状況

※〈表 1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表 2〉の表現にしたがって示した。

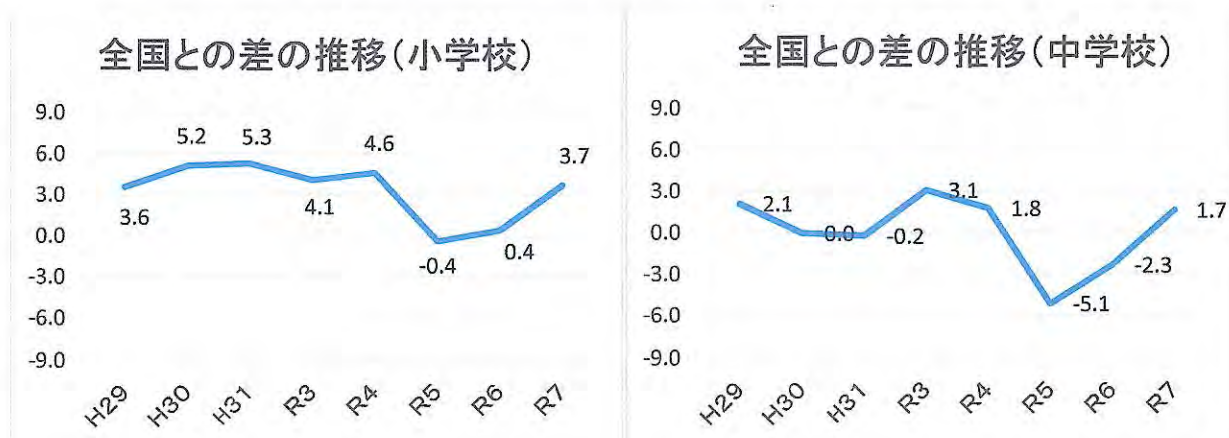
〈表 2〉：〈表 1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が +6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が +6%未満～-6%より大きい状況であるもの	概ね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が -6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表 2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第 3 条（別表 2）による。

〈グラフ 1〉：全国と仙北市との平均正答率の差の推移（実施した全教科の平均）

※中学校理科は全日程共通問題においての平均での比較



(2) 設問分類・区分別集計結果から

本調査における設問を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」で分類し、全国及び秋田県と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ① 全国と仙北市の平均正答率の比較では、小学校6年、中学校3年ともに国語、算数・数学、理科の全ての区分において、「概ね満足できる状況」あるいは「十分満足できる状況」である。
- ② 同様に全国と仙北市の平均正答率の比較からは以下のことが言える。
 - ア) 小学校6年国語では、全ての区分において全国の平均正答率を上回っており、「指導要領の内容」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」、「問題形式」の「記述式」が「十分満足できる状況」にある。
 - イ) 小学校6年算数では、全ての区分において全国の平均正答率を上回っており、全ての区分において、「概ね満足できる状況」である。
 - ウ) 小学校6年理科では、全ての区分において、「概ね満足できる状況」であり、「問題形式」の「記述式」が「十分満足できる状況」である。
 - エ) 中学校3年国語では、全ての区分において全国の平均正答率を上回っており、全ての区分において、「概ね満足できる状況」であり、「問題形式」の「短答式」が「十分満足できる状況」にある。
 - オ) 中学校3年数学では、全ての区分において、「概ね満足できる状況」にある。
 - カ) 中学校3年理科では、全日程に共通する問題において、「概ね満足できる状況」にある。
- ③ 秋田県と仙北市の平均正答率の比較からは以下のことが言える。
 - ア) 小学校6年国語では、「指導要領の内容」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」の「知識・技能」「思考・判断・表現」、「問題形式」の「選択式」「短答式」「記述式」が県の平均正答率を上回っている。
 - イ) 小学校6年算数では、「指導要領の内容」の「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」、「評価の観点」の「知識・技能」「思考・判断・表現」、「問題形式」の「短答式」「記述式」が県の平均正答率を上回っている。
 - ウ) 小学校6年理科では、「問題形式」の「記述式」が県の平均正答率を上回っている。
 - エ) 中学校3年国語では、「指導要領の内容」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」、「評価の観点」の「思考・判断・表現」、「問題形式」の「短答式」が県の平均正答率を上回っている。
 - オ) 中学校3年数学では、「指導要領の内容」の「データの活用」、「評価の観点」の「知識・技能」、「問題形式」の「短答式」が県の平均正答率を上回っている。
 - カ) 中学校3年理科では、全日程に共通する問題において、「概ね満足できる状況」にある。

【課題】

- ・ 秋田県と仙北市の平均正答率を比較した場合、次のような課題がある。
 - ア) 小学校6年国語では、全ての区分において「概ね満足できる状況」であり、「学習指導要領の内容」の「我が国の言語文化に関する事項」について更なる向上が期待できる。
 - イ) 小学校6年算数では、全ての区分において「概ね満足できる状況」であり、「学習指導要領の領域」の「測定」について更なる向上が期待できる。
 - ウ) 小学校6年理科では、全ての区分において「概ね満足できる状況」ではあるが、「学習指導要領の領域」の「エネルギー」「地球」について改善を図る必要がある。
 - エ) 中学校3年国語では、全ての区分において「概ね満足できる状況」であり、「学習指導要領の内容」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」について更なる向上が期待できる。
 - オ) 中学校3年数学では、全ての区分において「概ね満足できる状況」であるが、「学習指導要領の領域」の「数と式」「図形」について改善を図る必要がある。
 - カ) 中学校3年理科では、全日程に共通する問題において、「概ね満足できる状況」であるが、「学習指導要領の領域」の「エネルギー」について改善を図る必要がある。

〈表 3－(1)〉：「小学校 6 年国語」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導の要 領 内容	言葉の特徴や使い方にに関する事項 (知・技)	2	83.4	76.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	情報の扱い方にに関する事項 (知・技)	1	69.1	63.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	我が国の言語文化に関する事項 (知・技)	1	85.0	81.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	話すこと・聞くこと (思・判・表)	3	69.2	66.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと (思・判・表)	3	73.2	69.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと (思・判・表)	4	61.7	57.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
評価 点の	知識・技能	4	80.2	74.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	思考・判断・表現	10	67.4	63.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	9	67.8	64.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	3	84.3	78.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	2	66.0	58.8	十分満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3－(2)〉：「小学校 6 年算数」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導の要 領 領域	A 数と計算	8	63.3	62.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	B 図形	4	58.0	56.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	C 測定	2	54.9	54.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	C 変化と関係	3	56.0	57.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	D データの活用	5	65.3	62.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 点の	知識・技能	9	67.4	65.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	7	49.4	48.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	6	68.2	67.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	6	65.4	64.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	4	37.9	34.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3－(3)〉：「小学校 6 年理科」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
区 指 分 導 ・ 要 領 領 域 の	「エネルギー」を柱とする領域 (A区分)	4	46.9	46.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	「粒子」を柱とする領域 (A区分)	6	54.9	51.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	「生命」を柱とする領域 (B区分)	4	58.9	52.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	「地球」を柱とする領域 (B区分)	6	72.0	66.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評 観 価 点 の	知識・技能	8	58.1	55.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	9	64.0	58.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問 形 題 式	選択式	11	56.7	54.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	4	73.9	69.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	2	60.7	45.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3－(4)〉：「中学校 3 年国語」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指 導 の 要 内 領 容	言葉の特徴や使い方にに関する事項 (知・技)	2	51.4	48.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	情報の扱い方にに関する事項 (知・技)	0				
	我が国の言語文化に関する事項 (知・技)	0				
	話すこと・聞くこと (思・判・表)	4	55.7	53.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと (思・判・表)	5	55.1	52.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと (思・判・表)	3	64.3	62.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評 観 価 点 の	知識・技能	2	51.4	48.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	12	57.6	55.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問 形 題 式	選択式	8	66.2	63.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	2	78.6	73.6	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	4	26.7	25.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3－(5)〉：「中学校 3 年数学」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	A 数と式	5	46.2	43.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	B 図形	4	45.9	46.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	C 関数	3	48.9	48.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	D データの活用	3	60.0	58.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 点の	知識・技能	9	55.4	54.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	思考・判断・表現	6	40.4	39.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	3	57.8	54.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	7	51.4	52.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	41.5	39.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3－(6)〉：「中学校 3 年理科」の設問分類・区分別集計結果

※全日程に共通する問題（6 問）について

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	「エネルギー」を柱とする領域	1	45.6	51.9	概ね満足できる状況	改善が必要な状況
	「粒子」を柱とする領域	3	65.6	56.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	「生命」を柱とする領域	1	23.6	29.7	概ね満足できる状況	改善が必要な状況
	「地球」を柱とする領域	1	34.0	36.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 点の	知識・技能	3	38.8	42.1	概ね満足できる状況	改善が必要な状況
	思考・判断・表現	3	61.1	53.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題 形式	選択式	3	34.4	39.2	概ね満足できる状況	改善が必要な状況
	短答式	1	47.3	44.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	2	74.7	62.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

(3)各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるものについて示す。

①小学校6年「国語」について

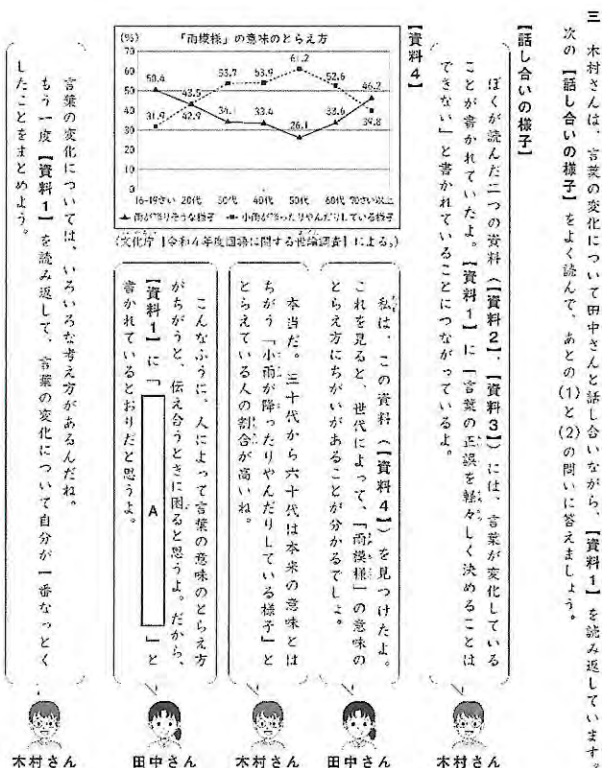
☆「設問番号3三(1)」

「【話し合いの様子】」の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する」では、「目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の内容」では「読むこと」、「評価の観点」では「思考・判断・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

<指導の改善点>

- ◆ 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けることができるようにする。



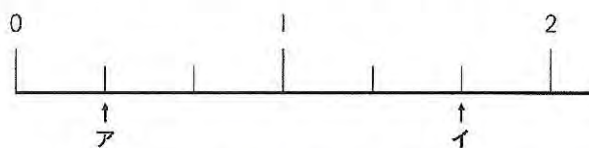
②小学校6年「算数」について

☆「設問番号3(3)」

「数直線上に示された数を分数で書く」では、「数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

(3) 次の数直線のA、イの目盛りが表す数を分数で書きましょう。



<指導の改善点>

- ◆ 数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解を深めることができるようにする。

③小学校6年「理科」について

☆「設問番号3（3）」

「ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ」では、「発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現すること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「生命」、「評価の観点」では「思考・判断・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

<指導の改善点>

- ◆ 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるようにする。

(3) 【方法③】のケとコは、それぞれどのような条件で実験すればよいですか。ケとコにあてはまる実験を、下の1から4の中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

1 〈条件〉 ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	2 〈条件〉 ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・冷蔵庫の中(約5℃) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし
3 〈条件〉 ・水あり ・空気なし(種子が空気にふれていない) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	4 〈条件〉 ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光あり(直接日光が当たらない明るい所) ・肥料なし

たかひろ 実験の結果から、ヘチマの種子も、水、空気、適した温度といった条件が必要だったよ。

④中学校3年「国語」について

☆「設問番号4二」

「手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く」では、「読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の内容」では「書くこと」、「評価の観点」では「思考・判断・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

<指導の改善点>

- ◆ 伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるようにする。

【理由】

光日 さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくださり、誠にありがとうございました。大勢さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしか思っていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、華やかな花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

【手紙の下書きの一部】

⑤中学校3年「数学」について

☆「設問番号6（3）」

「連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する」では、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「思考・判断・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

<指導の改善点>

- ◆ 事柄が成り立つ理由を、構想を立て、根拠を明確にして説明できるようにする。

(3) 結果さんは、連続する2つの3の倍数を、連続する3つの3の倍数に変えた場合、その和がどんな数になるかを調べました。

$$\begin{array}{ll} 3, 6, 9 \text{ のとき} & 3 + 6 + 9 = 18 = 9 \times 2 \\ 6, 9, 12 \text{ のとき} & 6 + 9 + 12 = 27 = 9 \times 3 \\ 9, 12, 15 \text{ のとき} & 9 + 12 + 15 = 36 = 9 \times 4 \end{array}$$

結果さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想

連続する3つの3の倍数の和は、9の倍数になる。

上の予想がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2

n を整数とすると、連続する3つの3の倍数は、 $3n, 3n+3, 3n+6$ と表される。
それらの和は、

$$3n + (3n + 3) + (3n + 6)$$

⑤中学校3年「理科」について

☆「設問番号1（1）」

「電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や早く水が温まる装置を選択する」では、「回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識・技能」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「エネルギー」、「評価の観点」では「知識・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

<指導の改善点>

- ◆ 回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能を身に付けることができるようにする。

1

理科の実験で使用する水は精製水です。



理科の実験で使用する水は精製水です。精製水について、調べたことを発表しましょう。

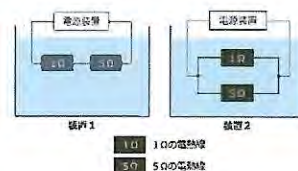
精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりすることによってつくった水です。



より早く水を温めるには、電熱線をどのようにつなげたらよいでしょうか。右の装置で考えてみましょう。



同じ電圧を加えたとき、回路全体の抵抗がどうなるかを考えれば分かります。



(1)

右図全体の抵抗が大きいのは装置1、装置2のどちらか、1つだけ正しい。また、上図について、同じ電圧を加えて、より早く水を温めることができるのは装置1、装置2のどちらか、1つだけ正しい。

2 児童生徒質問紙調査の結果

(1) 概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。

全国及び秋田県の場合と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、若干の課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向にあると言える。

特に「学習意欲」「人間関係」「地域や社会との関わり」「ICT機器の活用」について肯定的な回答率が高い傾向が見られた。

(2) 小学校6年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答率」の高い質問

小学校6年生の質問事項71項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、92%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率(%)
1	(1)	朝食を毎日食べていますか	94.0
2	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.2
2	(5)	自分には、よいところがあると思いますか	92.2
4	(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	97.4
5	(7)	将来の夢や目標を持っていますか	92.2
6	(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	96.5
7	(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.3
8	(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.3
9	(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	95.7
10	(14)	友人関係に満足していますか	97.4
11	(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	98.3
12	(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	92.3
13	(29-1)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができますと思いますか	96.6
14	(29-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができますと思いますか	98.3
15	(30-2)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分らないことがあった時に、すぐ調べることができる	97.4

16	(30-3)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3) 楽しみながら学習を進めることができる	98.3
17	(30-4)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	97.4
18	(30-6)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	94.0
19	(30-7)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる	97.4
20	(37)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	92.3
21	(38)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	93.9
22	(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	96.6
23	(41)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	99.1
24	(43)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.2
25	(47)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	97.4
26	(50)	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか	93.9
27	(55)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出るときに役に立つと思いますか	97.5
28	(59)	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか	92.2
29	(67)	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	97.4
30	(69)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	93.1

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。（県の割合との比較は参考のために示した。）

N0	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率(%)	全国 比較	県 比較
1	(25)	これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか	90.6	+10.0	+4.8
2	(26)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります（習い事は除く）	54.3	+14.9	+9.9
3	(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	92.2	+10.9	+2.1
4	(29-1)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができますと思いますか	96.6	+14.8	+12.5
5	(29-3)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができますと思いますか	83.7	+14.4	+12.8
6	(30-3)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができる	98.3	+12.8	+7.0
7	(30-5)	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる	91.4	+13.8	+7.9
8	(41)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	98.3	+15.0	+7.9
9	(44)	国語の勉強は得意ですか	81.1	+19.7	+13.1
10	(45)	国語の勉強は好きですか	81.9	+23.6	+13.1
11	(48)	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	88.7	+10.5	+8.1
12	(49)	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	87.1	+11.6	+7.6
13	(50)	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか	93.9	+12.1	+6.7
14	(51)	国語の授業で目的に応じて説明的な文章を読み文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけていますか	90.5	+11.4	+4.9

15	(53)	算数の勉強は好きですか	69.9	+12.0	+6.8
16	(58)	算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	81.1	+15.6	+8.2
17	(59)	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか	92.2	+11.6	+5.2
18	(65)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか	74.1	+10.9	+3.8

(3) 小学校6年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答率」の低い質問

小学校6年生の質問事項71項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、30%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率(%)
1	(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた児童	15.5
2	(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか。 ※1時間以上と答えた児童	14.6
3	(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた児童	6.9
4	(23)	新聞を読んでいますか	18.1

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－4ポイント以下のものは次の表のとおりである。（県の割合との比較は参考のために示した。）

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率(%)	全国 比較	県 比較
1	(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた児童	15.5	-9.4	-0.6
3	(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた児童	6.9	-4.9	-0.4

(4) 中学校3年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答率」の高い質問

中学校3年生の質問事項70項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、92%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率(%)
1	(1)	朝食を毎日食べていますか	94.1
2	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	97.0
3	(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	98.5
4	(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	93.4
5	(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.7
6	(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.8
7	(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	93.4
8	(14)	友達関係に満足していますか	96.3
9	(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	94.1
10	(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	94.1
11	(29-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができると思いますか	100.0
12	(35)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	94.1
13	(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	96.3
14	(43)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	96.3
15	(46)	国語の授業の内容はよく分かりますか	93.4
16	(47)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	96.3
17	(68)	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	98.5

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。（県の割合との比較は参考のために示した）

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率(%)	全国 比較	県 比較
1	(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	83.7	+10.5	+7.8
2	(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	89.6	+10.4	+4.9
3	(24)	読書は好きですか	74.1	+12.5	+6.3
4	(26)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか	43.7	+14.2	+9.5
5	(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	94.1	+18.8	+7.6
6	(31)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	75.6	+12.6	+12.2
7	(33)	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	82.9	+12.3	+2.2
8	(34)	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	91.2	+11.9	+5.6
9	(36)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	89.6	+16.2	+8.5
10	(37)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	88.1	+13.3	+6.2
11	(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	90.4	+10.9	+1.6
12	(44)	国語の勉強は得意ですか	71.8	+20.4	+10.8
13	(45)	国語の勉強は好きですか	80.8	+22.9	+9.4
14	(46)	国語の授業の内容はよく分かりますか	93.4	+16.4	+10.4
15	(48)	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	86.7	+13.8	+6.8

16	(49)	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくださいませんか	86.7	+16.5	+8.8
17	(55)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.2	+10.0	+4.1
18	(58)	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	71.8	+13.2	-0.3
19	(61)	理科の勉強は好きですか	79.2	+15.4	+2.5
20	(62)	理科の授業の内容はよく分かりますか	82.3	+10.9	+2.3
21	(63)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.0	+19.6	+8.1
22	(65)	理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか	63.7	+13.0	-0.7
23	(67)	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	67.4	+11.2	+0.3
24	(68)	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	98.5	+12.7	+3.1
25	(69)	理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか	81.5	+11.3	-1.8
26	(70)	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか	80.7	+12.3	-1.1

(5) 中学校3年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答率」の低い質問

中学校3年生の質問事項70項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の割合）が、30%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	肯定的回答率(%)
1	(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた生徒	11.1
2	(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか ※1時間以上と答えた生徒	5.2

3	(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※3時間以上と答えた生徒	4.4
4	(23)	新聞を読んでいますか	14.0
5	(28)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか ※ほぼ毎日（1日に1回くらい）	28.9

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が－8ポイント以下のものは次の表のとおりである。（県の割合との比較は参考のために示した）

NO	質問 番号	質問事項	肯定的 回答率(%)	全国 比較	県 比較
1	(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※2時間以上と答えた生徒	11.1	-19.7	-10.1
2	(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※3時間以上と答えた生徒	4.4	-9.4	-9.9
3	(28)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか ※ほぼ毎日（1日に1回くらい）	28.9	-24.3	-23.2

(6) 仙北市学校教育目標に関わる事項の経年比較

仙北市の学校教育目標に関わる項目についての直近3年間の肯定的回答率の変化を次に示す。

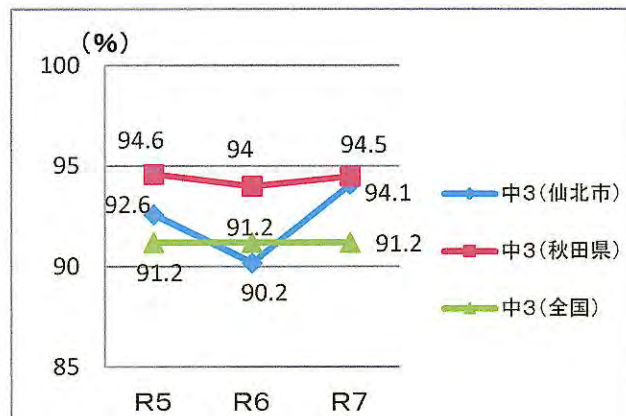
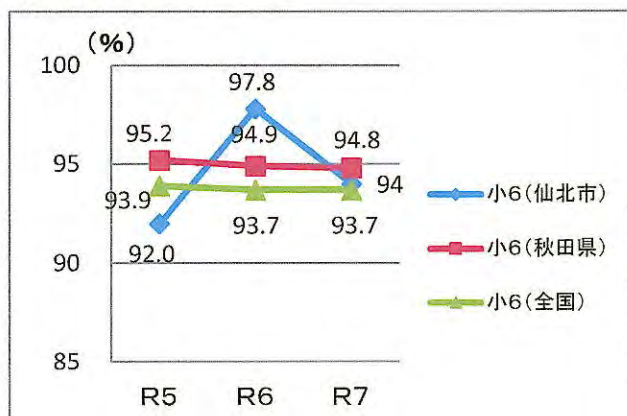
学校教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体をもち、

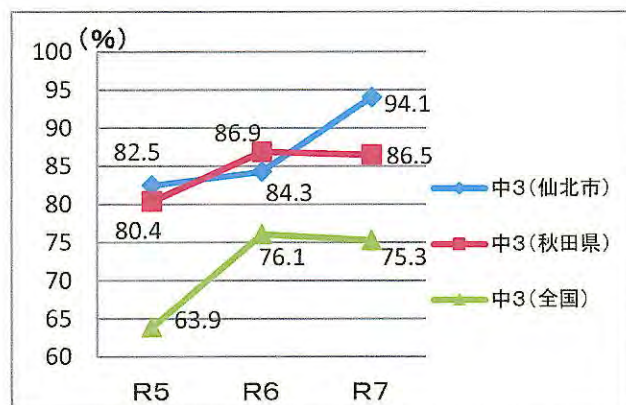
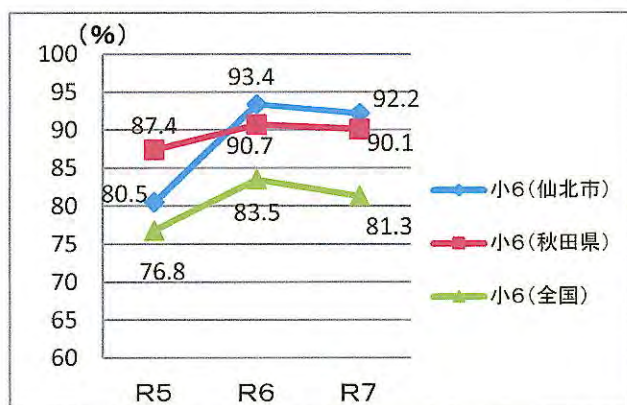
未来の地域や社会を支える意欲と高い志にあふれる仙北の子ども」の育成

～「骨太の人間の育成」「仙北市プライドの醸成」～

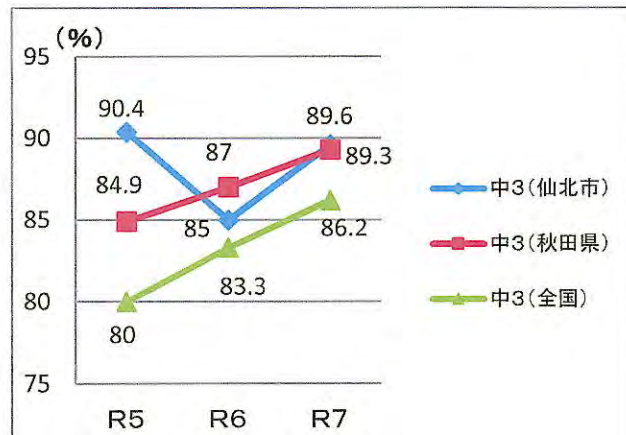
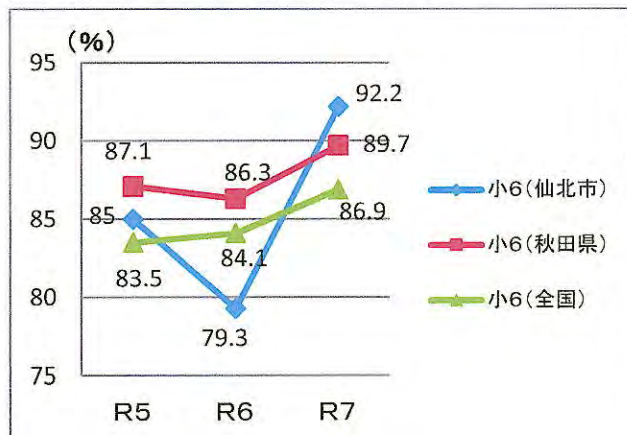
☆朝食を毎日食べていますか



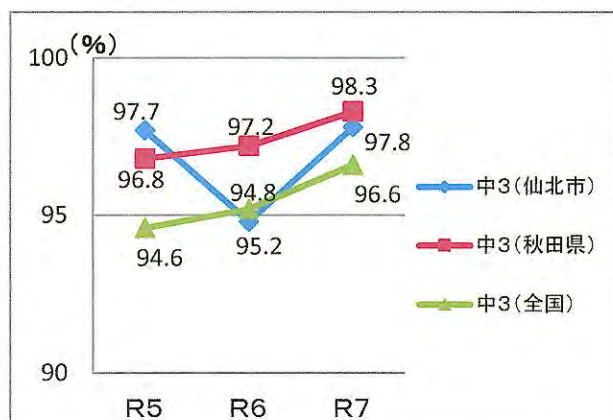
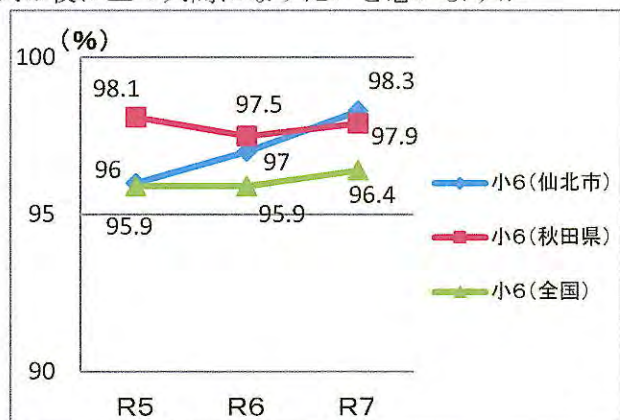
☆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



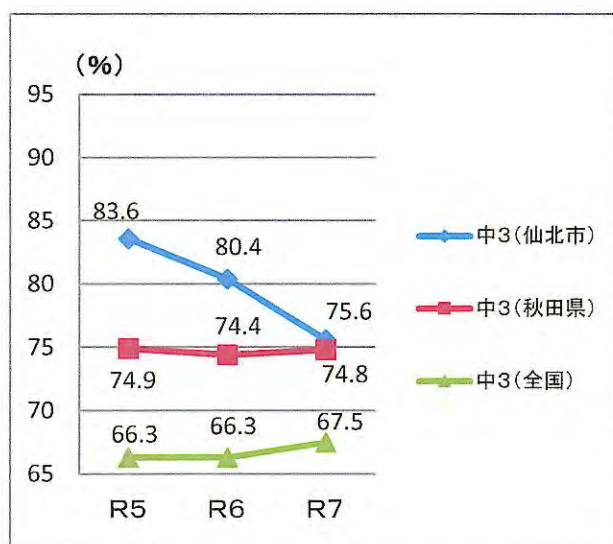
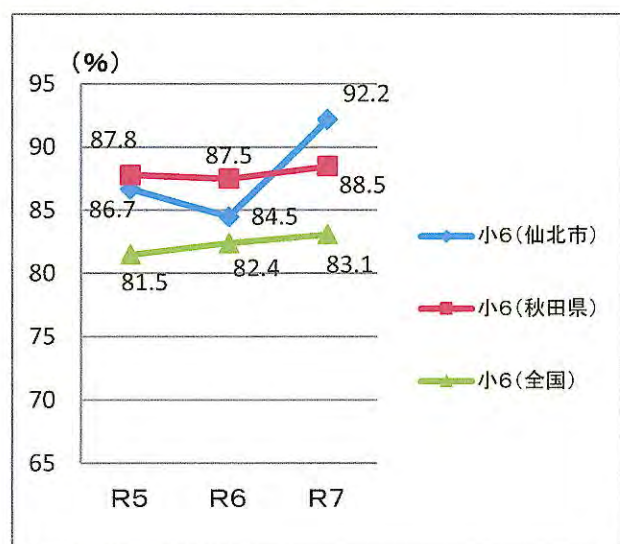
☆自分には、よいところがあると思いますか



☆人の役に立つ人間になりたいと思いますか



☆将来の夢や目標を持っていますか



Ⅳ 改善の方法

1 全体的な取組として

(1) 指導改善の具体策

教科に関する調査、児童生徒質問紙から見てきた仙北市の課題を解決するために、それぞれの部会で出された具体策を次に示す。

<①小学校国語部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・問題文を読み込む力、要点をとらえる力、語彙力

◇力をつけていくための取組

- ・資料を読み取る学習（社会科等、教科を横断して高める）
- ・説明的文章と図表を結びつける学習

<②中学校国語部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・伝える力（根拠を明確にして説明する力）、文語・口語表現を場に応じて使い分ける力、出題意図を理解する力

◇力をつけていくための取組

- ・読書の習慣化
- ・敬語を使う場面設定（職場体験等を良い機会と捉えて実践）
- ・理由の伝え方、アウトプットの仕方の指導（なぜを説明できるよう繰り返し指導）

<③小学校算数部会で出された具体策>

◇必要な力（分数の学習において）

- ・数直線や図表などから多面的に考える力

◇力をつけていくための取組（分数の指導場面において）

- ・「1をもとにして」という考え方を繰り返し指導（小数においても）
- ・低学年からの学習の繋がりを意識した指導
- ・数直線、図、実物など様々な方法で分数のイメージを大切にした指導

<④中学校数学部会で出された具体策>

◇必要な力

- ・式で表す力、計算力、文章の読解力、自分の考えを外言化する力

◇力をつけていくための取組

- ・多面的・多角的に問題をとらえる経験の積み重ね
- ・一問一答式ではない授業展開（自分の考えを話す力を育てる）
- ・深まりのある話し合いができる授業展開（なぜ、どうして、そこからどうなる…）
- ・道筋をつける、見通しを立てることの積み重ね

＜⑤小学校理科部会で出された具体策＞

◇必要な力

- ・資料を読み取る力、条件制御についての理解

◇力をつけていくための取組

- ・子どもの発想から実験計画を立案
- ・条件の違いを見付ける活動の充実（変えること、同じにすること等）
- ・見通しをもたせたり、実験方法を考えたりする時間の確保

＜⑥中学校理科部会で出された具体策＞

◇必要な力（電流とその利用の学習において）

- ・回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能

◇力をつけていくための取組

- ・発展的な学習にも取り組む
- ・各単元の学習に繋がりをもたせる

＜⑦小学校研究主任会で出された具体策＞

◇基礎・基本の確実な定着について

- ・基礎テストの実施（練習問題の配付、ICTを活用した問題作成、賞をもうけるなど意欲を高める工夫）
- ・デジタルドリルの活用
- ・一人勉強ノートの奨励（お手本となるノートを掲示・配付）

＜⑧中学校研究主任会で出された具体策＞

◇基礎・基本の確実な定着について

- ・家庭学習ノートを全校体制でチェック（取り組み方のアドバイスも）
- ・テストの在り方の検討
- ・次年度へ生かすためのアンケートの実施

（２） 各中学校区の情報交換から

各校の課題及びその改善に向けた取組について、中学校区毎に情報交換を行った。共通する成果、課題を洗い出し、課題に対して、９年間を見通した対応策を話合った。

△課題『生徒指導面』

①SNSの利用による生活リズムの乱れ

○対応策

①メディアコントロールデーの実施（小・中合同）

SNSルールについて児童・生徒自身が考える。学校と家庭とが連携してSNSとのつきあい方について考える。

△課題『学習指導面』

- ①自分の考えを述べるのが苦手
- ②家庭学習の取組
- ③読書習慣、読書量

○改善策

- ①「つぶやく」から「話し合う」「説明する」活動を充実させる。相手意識をもたせる指導の工夫。
- ②児童・生徒に合わせた家庭学習の取組に対する支援。ICTの活用。目標や必要間をもたせる手立ての工夫。
- ③中学生が小学生に読み聞かせをしたり、ビブリオバトルを見せたりする。

(3) 共通実践すべき具体的方策

仙北市内小中学校で共通理解の上で共通実践すべき方策

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ②探究型授業の基本プロセスを機能させたICTの活用
- ③心の通い合う明るいあいさつの励行
- ④共感的な集団づくりのための「温かさや思いやりのある言動」の奨励

生徒指導提要の改定に伴い、生徒指導の実践上の視点に「安全・安心な風土の醸成」が加えられたことから、「あいさつから始まる解放された人間関係」の構築を目指し、上記4つを柱として実践を行っていく。

同一中学校区での研修や研究、情報交換等による義務教育9年間の系統的・段階的な指導の更なる充実を目指すとともに、「共通で目指す子どもの姿」、「共通で取り組んでいること」を可視化するなど明確にしてその実践を継続していく。

2 学年・教科・区分・設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について設問ごとの結果から、改善のために検討の余地があるものについては、次の資料等を活用して、課題解決を目指す必要がある。

- 「全国学力・学習状況調査 秋田県調査結果の概要」

〈令和7年10月 秋田県検証改善委員会〉

- 令和7年度 全国学力・学習状況調査「報告書」「解説資料」

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会「説明資料」

〈令和7年8月 国立教育政策研究所〉

- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」

【小学校版】

〈平成22年12月 文部科学省〉

【中学校版】

〈平成23年 5月 文部科学省〉

- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

〈令和2年3月 国立教育政策研究所〉

3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

1 地域の人材活用の仕組み作りと財政的支援

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップチーム」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

また、平成25年度からは、各学校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も実施している。平成26年8月には「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育」指導資料として冊子「ふるさと仙北学」を発行、各校に配布した。平成27年12月にも同冊子を増刷し、各校に配布した。ふるさと教育を基盤とした取組の充実が児童・生徒の生きる力、地域社会における自己有用感の育成につながるようさらに働きかけていく。

さらに、学校・家庭・地域総合推進事業を立ち上げ、地域学校協働本部を設置し、コミュニティスクールを設置していく中で、地域人材活用の仕組み作りに取り組んでいる状況である。

2 北浦教育文化研究所研究委員会の充実について

上記Ⅳ－2の各種資料については、各学校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

資料 1

「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱

平成19年12月20日

教育委員会告示第19号

最終改正 令和元年10月教育委員会告示第22号

(目的)

第1条 この要綱は、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」(以下「本調査」という。)の仙北市及び仙北市立小・中学校の調査結果について文部科学省から提供される情報(以下「結果」という。)の取扱について必要な事項を定めることを目的とする。

(結果の公表)

第2条 仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

(結果の公表の内容)

第3条 文部科学省が市町村教育委員会に提供する結果の資料(別表1)について、公表に係る取扱は次の通りとする。

- (1) 「1」の公表については、国及び県の平均正答率と比較して(別表2)の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を(別表2)の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係についても併せて公表する。平均正答率の比較以外の結果は公表しない。
- (2) 「2」の公表については、「学習指導要領の領域別」「評価の観点別」「問題形式別」に国及び県の平均正答率と比較して(別表2)の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を(別表2)の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係についても併せて公表する。各設問ごとの結果の比較は公表しない。
- (3) 「別表1」の「3」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。

- (4)「別表1」の「4」については、公表する。
- (5)「別表1」の「5」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。
- (6)「別表1」の「6」～「8」は公表しない。

(改善策の立案)

第4条 結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1)主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2)主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3)改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4)その他

(結果の公表の方法)

第5条 第3条に示す公表の内容及び第4条に示す改善策は、仙北市教育委員会北浦教育文化研究所において、改善策の策定後すみやかに報告書を作成し公表する。

(情報公開)

第6条 仙北市情報公開条例第7条6号を根拠として第3条に示す公表内容以外の情報は不開示情報とする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める

附則

この告示は、平成19年12月20日から施行する

附則

この告示は、平成26年11月28日から施行する

附則

この告示は、令和元年10月1日から施行する

(別表1)「文部科学省が市町村教育委員会に提供する資料」(第3条関係)

	内 容	備 考
1	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果概況	(1)棒グラフ(正答数別児童生徒の割合) (2)数値(正答数別の児童生徒数、平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差)
2	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	(1)表(「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の平均正答率) (2)表(各設問ごとの「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の正答率、無回答率)
3	各市町村域内の公立学校全体の質問紙調査の回答状況	(1)表(児童生徒質問紙の各質問の選択別の児童生徒数、割合)(選択肢別の学校数、選択肢別の学校数の割合) (2)棒グラフ(各質問の選択肢別の児童の割合)(選択肢別の学校の割合)
4	各市町村が設置管理する学校の参加概況等	
5	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果と児童生徒質問紙調査の結果のクロス集計表	(1)表(各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数) (2)表(各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数の割合)
6	各学校の各教科区分別の調査結果概況	各学校に提供される情報
7	各学校の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	各学校に提供される情報
8	各学校の各児童生徒の各教科の調査・児童生徒質問紙への解答(回答)状況	各学校に提供される情報

「*四分位層」…成績の上位から25%のきざみで4つのグループに分け相関の度合いを示す

(別表2)「(別表1)の1及び2の公表に係る階層区分と表現」(第3条関係)

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%未満～-6%より大きい状況であるもの	おおむね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況